

若手職員の 1 日を追う！

内閣府の若手職員はといった
2人の職員のとある1日

どんな毎日過ごしているのか？
を覗いてみましょう！



駿河 里帆 *Suruga Rihō*

政策統括官(経済財政分析担当) 付
参事官(総括担当) 付

令和 7年 採用
現職

MESSAGE

数ある選択肢の中から内閣府を選ぶことは、決して後悔しない選択だと思います。自分を信じて挑戦してみてください！

打合せの日程調整

幹部や関係者との打合せに向けて、担当者同士で連絡を重ねながら、打合せが円滑に進むよう調整を行います。

退庁

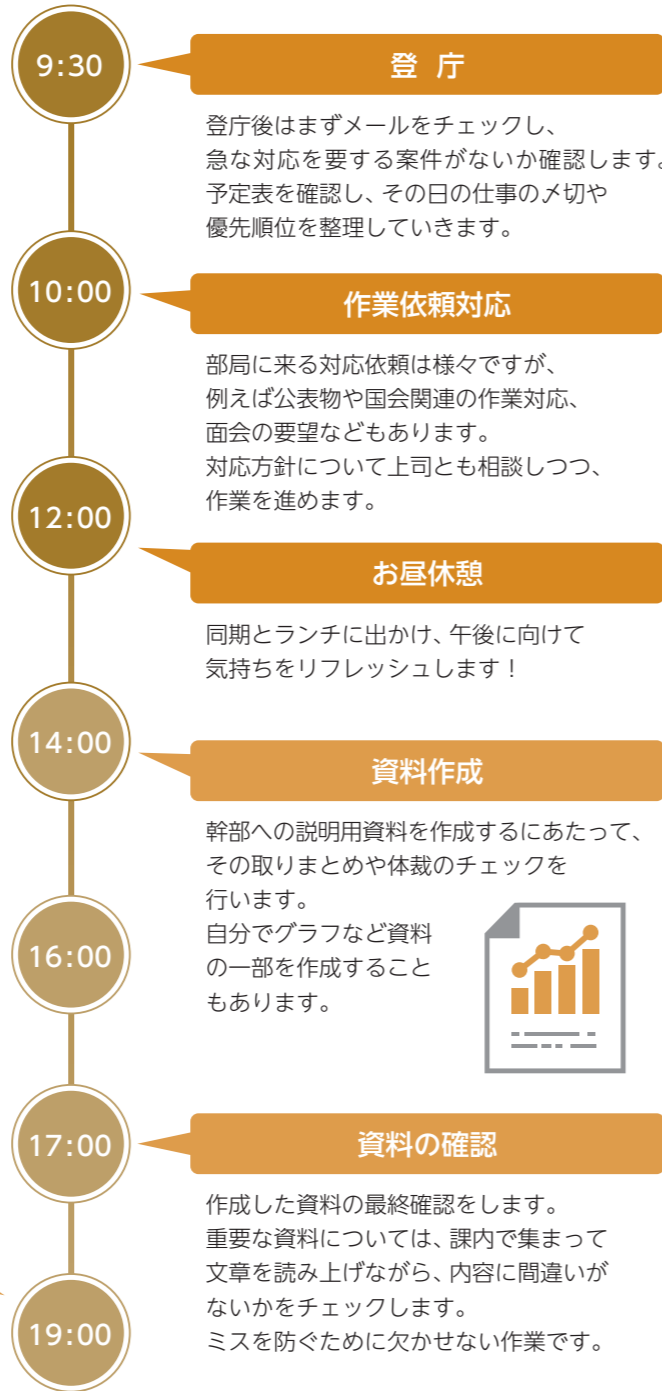
本日中の対応を要する業務が無いことを確認し、退庁します！残業することもあります、同僚と飲みに行くことも！

これまでに最もやりがいを感じた瞬間

自分が関わった資料が公表され、報道などで目にした時にとってもやりがいを感じました。

働くうえでのモットー

逃げちゃダメだ！できることからまず始める。



槇 颯英 *Maki Hayahide*

大臣官房総務課審査 1 係

令和 6年 採用
政策統括官(経済財政運営担当) 付
参事官(総括担当) 付
令和 7年 現職

MESSAGE

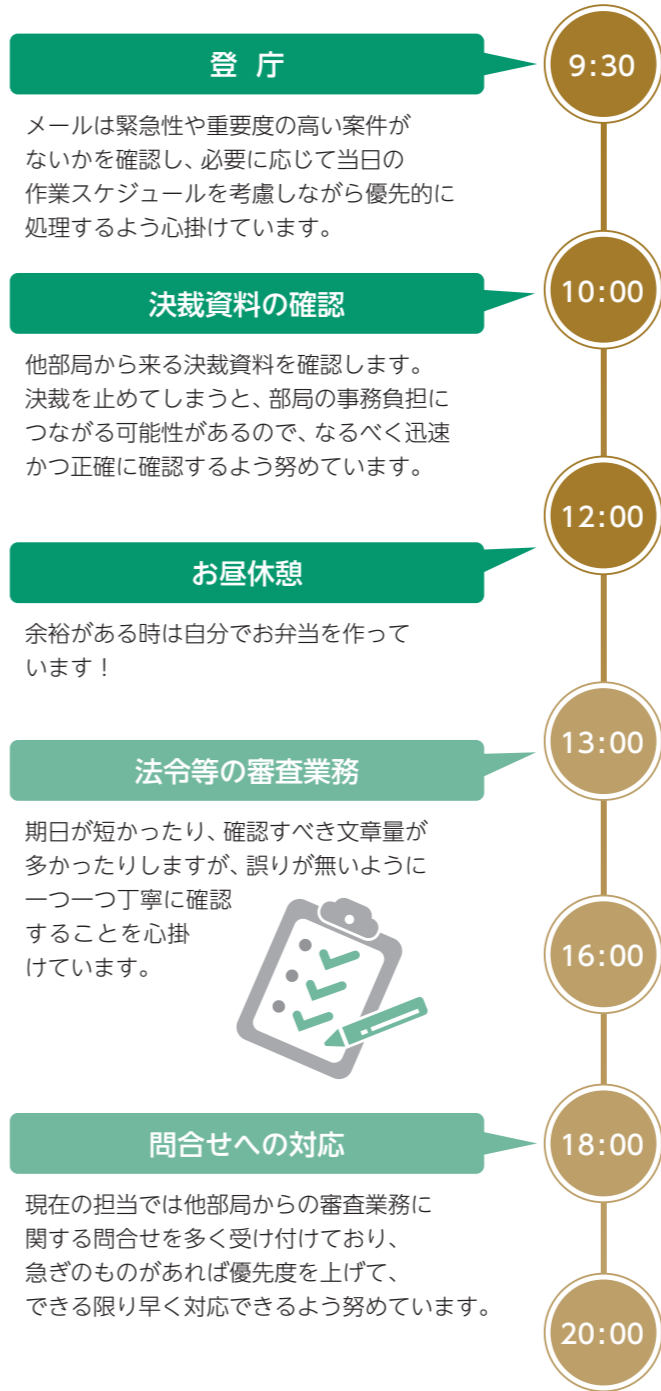
社会が抱える諸課題に対して、法律や経済政策等、幅広い手段でアプローチすることができ、今の時点でやりたいことが決まっていな人にもおすすめです！

打合せへの同席

幹部室で行われる部局の打合せに同席し、自分が関わっている案件の進捗等を確認し、必要があれば担当内で共有します。

退庁

同期と職場近くにあるお気に入りのお店に行くことが多いです！



あなたにとって、内閣府とは

日々新しい発見の連続で、常に成長できる場所。

内閣府を志望した理由

骨太の方針等、国のあるべき姿の大枠を策定する政策手段を、複数持つ点に魅力を感じたからです。